

観世流能楽師 佐久間二郎氏について



1972年（昭和47）12月生まれ 山梨県甲府市出身
高校在学中、観世流・中森晶三師に師事。
高卒後、観世喜之師（観世流矢来観世家現当主・重要無形文化財保持者）のもとに内弟子入門。6年半の内弟子生活を送る。
平成10年9月、観世宗家より観世流能楽師としての認定を受ける。
平成11年、「能楽入門講座 花のみちしるべ」を開講。
地元・山梨に於いて、能楽の普及に努める。過去五年間のうち自主講座5回、教育事務所・中学・高校などからの依頼講座40回の実績を持つ。現在、東京・鎌倉・横須賀・山梨市・甲府市に「謡曲・仕舞」の稽古場を持つ。平成17年4月、甲府「武田神社」にて、同神社史上初の「薪能」を開催、上演。1千人の観客を動員する。平成18年4月国立能楽堂にて「道成寺」披露。山梨県立大学非常勤講師。社団法人・「観世九臈会」（かんぜきゅうこうかい）に所属。能楽協会会員。謡曲・仕舞「観世流 富士の会」主宰。